

語り継ごう、明日へ。

歴史はいつも未来へのみちしるべです
世の中の進むスピードと自分の生きていくペースが
少し合わなくなってきたなと感じ始めたら
いつか来た道まで戻ってみましょう

ひと街にと

No.12

二〇〇五年七月（年四回発行）

発行：社印刷紙工

札幌市中央区南十五条西十八丁目

TEL 011-561-1359

北海道札幌市東区北一条西十七丁目

編集：ひと街にと刊行会
TEL 011-633-6651



夏、水の記憶…… 夢のような日々

水と戯れた記憶をどこまでたどれるでしょうか。幼
い頃、近くの海や川が遊び場だった人は幸せです。

ここは昭和三十年代の小樽市のある磯。流水を燃
やして少年たちが茹でているのはツブと呼ぶ小さな巻
貝です。針で身を切れないように取り出して口に入れ
ると、ほどよい海水の塩味。ヒル貝（イ貝）でも取れ
ようものなら万々歳。ウニやアワビは人ト口級でした。
腹がふくれたらまたひと泳ぎ。家に帰ると貝つ赤に日
焼けした顔、塩が吹いた坊主頭で、海に行つたとすぐ
わかります。危ないからダメだと何度言つたらわかる！
としかられたものです。

同じ時代の北九州の少年も、早朝から河口に立ちこ
んでのハゼ釣りでした。ランニングシャツにムギワラ
帽。エサは前日掘ったゴカイ、延べ竿に玉浮きという
いたって安価な道具立て。はて、昼飯や水はどうして
いたのか、遠い夢のあわいに定かではありません。



かつての桑園駅(77年2月撮影*)と現駅(うしろはJTB本社)



から日常的に同線を利用して人以外はわからないことかもしれません。

簡単に札沼線の歴史に触れておきますと、国鉄留萌本線・石狩沼田(石狩管内沼田町)―函



太平から北にまた札沼線の情緒が残る

JR学園都市線(札沼線)

新駅開業、高架化
住宅地の拡大と共に

都市の盛衰を最も反映するのが交通網中でも鉄道は様々なかたちで地域の変遷を語ってくれます。JR学園都市線と愛称は垢抜けていてもそこには国鉄札沼線の開通に始まって札幌市の人口増、交通網の整備といった長い歴史のレールがながっています。

国

鉄札沼線。桑園―新十津川間、七十六キロのローカル線である。このうち、札幌市内を通過するのは北区内で、新琴似、篠路、東篠路、釜谷白の四駅がある―これは昭和五十一年(一九七六)十二月の「広報さっぽろ北区版」に掲載された北区エピソード史「汽笛一声」に歓声と涙の冒頭部分です。現在の札沼線と、どこがどう異なっ

ているか、古く

から日常的に同

線を利用して

人以外はわか

れないことか

もしれません。

簡単に札沼線

の歴史に触れ

ておきますと、

国鉄留萌本線・

石狩沼田(石

狩管内沼田

町)―函

館本線・桑園(札幌市中央区)の全通が昭和九年(一九三四)。その後、同区間内で廃止・復活が繰り返され、現在の新十津川(新十津川町)―桑園になったのが四十七年(一九七二)のこと。

昭和四十七年といえば札幌オリンピック

が開催され、札幌市も政令指定都市と

して大きく発展する契機となった年。そ

れは住宅地の拡大を意味し、札沼線の新

駅開業・整備へとつながります。

昭和六十二年(一九八七)の国鉄のJ

R移行をはさんで、

昭六二・あいの里教育大駅開業

六二・新川、百合が原、太平各駅開業

六二・八軒駅開業。函館本線高架化に

伴う桑園駅の高架化

平七・東篠路駅が拓北駅に

・札幌最北のJR駅釜谷白があい

の里公園駅に

―と移り変わり、平成十二年(二〇

〇〇)の八軒、新川、新琴似三駅の高架

化で現在の姿になっています。

あいの里とは住宅都市整備公団が開

発したニュータウン。あいの里教育大駅

前の賑わいは、すでに函館本線の星置駅

前と変わるところはありませんし、高架

線路はモノレールに乗っているようなも

の。桑園から新琴似まではマンシヨンの

上階部や戸建の屋根しか見えません。

古き札沼線の情緒が残るのは、平坦部

を走る太平―篠路間の、両側に家並み

の続く数分でしょうか。沿線に北海道教

育大札幌校や北海道医療大学があること

から、同線の愛称が学園都市線となるの

は平成三年(一九九二)のことです。



かつての新琴似駅(190年10月撮影*)と現駅



*は札幌市写真ライブラリー提供

星野燃料

(木炭本舗・ほしの)

札幌市中央区南四条三丁目
電話(011)231-1575

炭火にお日にかかるのは焼鳥屋か年に一度のキャンプくらい。生活からすっかり遠くなってしまいました。その関連道具も姿を消したと思っていたら、あったのです、健在でした！

炭の関連道具といったら、どんなものがあつたか思い出せますか。十能つてありましたよね。炭火を運ぶひしやくの変形のような。火消し壺も覚えていますか。燃えさしの炭や薪を入れ、蓋をして火を消すもの。火鉢や五徳、火ばしなんて、最後に見たのはいつの日かというところでしょう。

木炭はもちろんのこと、こうした炭に関する商品が百五十点以上もあるのが星野燃料です。現在地に開店したのは明治

三十六年(一九〇三)。薄野を中心に一般家庭にも配達を行ってきましたが、現在は業務用がメイン。

十能、五徳、火消し壺、覚えてる？



東京、神奈川を中心にして、全国から注文が相次いでいます。

豊富な品揃えは、団扇一本おろそかにしない気の利いた画面作りに伺えます。備長焼肉セット、サンマ焼きセット、伊勢炭焼水コンロセットといった組み合わせもアイデア。たとえばサンマのセットは七輪、魚アミ、火おこし、火バサミ、備長炭など全七点で八千四百



七年前の店舗のビル化を機会にディスプレイを大きく変えました。昨年、四代目社長を継いだのは三十二歳の星野通孝さんです。若いとはいえず、またたときから炭と一緒に生活。高校卒業と同時に店を手伝ってききましたから、炭を見る目は確かです。時代の流れにも敏感で、四年ほど前に自ら開設したネット市場「木炭本舗・ほしの」が大人気

創業102年、4代目はネット市場へ



コンロや七輪もずらりと、右は焼物の火消し壺。なつかしいね。



火鉢に炭火とくればやはり南無鉄びん。いろいろな形がそろって、値段も手ごろ。



すべて国産の良質な木炭には、関東方面からも多くの注文がある



四代目の星野通孝社長。最近ブームのジンギスカンにも丁寧に対応。二階の旭川家具工芸

円といった具合です。



店舗前はスキンのメイプルストリート。薪を積み上げて、街並みには少々異色

墓石・石材業界のいま。

普段はあまり意識しないけれど、私たちの生活に欠かせない石の素材。公園の遊歩道や護岸の石積みなどの環境石、石造り倉庫などの建造物や、空港・ホテル・公共施設の床や壁に見られる石貼り。石材業は、こうした幅広い分野の施工を担う業種です。そして忘れてならないのが、誰でも人生の最後にお世話になる……そう、お墓です。石材業の中でも、墓石加工の周辺を歩いてみました。

石に込める心が大切。
「百年の買い物」へ
資格・技能試験も

生産・加工まで輸入？

札 幌市南区に本社を構える辻石材工業の加工場。工場内には、原石を切削する大型のカッティングマシンや、コンピュータ制御された研磨用機械がずらりと並んでい

ます。昔は石工が山出した原石をノミやコヤスケなどの道具を使って加工していましたが、現在では、人工ダイヤモンドの歯のついた切削機械や最新鋭の自動研磨装置が活躍しています。変化はこれだけではありません。石材業界全体でも最近では、こちら



のように切削・研磨工場を保有して原石を加工する会社为数少なくなっているのだとか。工賃の安い中国で加工した墓石や灯籠の輸入・販売が増えているからです。墓所に置く地蔵像や観音像も中国で粗彫りしたもの、日本で顔などを整えて仕上げることが多いそうです。

原石についても、案内してくれた辻明宏社長の口からは、「あの原石は韓国産。こちらのはフィンランドの『バルチック』……と外国の名前は



「墓とは何か」という原点に現った仕事は今こそ求められている」と北海道石材工業会の岩崎孝会長

かり。ほんのりと薄桃色がかかった岡山産の『万成石』が、国産原石代表として頑張ってます。いきました。

国内で原石を切り出して自家加工していたものが、その供給源を外国に求めるようになったのは、昭和四十八年のオイルショックのころ。国産の半値ぐらいで手に入ったため、同等の品質ならばと、次第に外



国産原石が多くなりました。

そのうちに中国などでの加工も。

北海道石材工業会の岩崎孝会長（市内町）は、「気がついたら、次第に商社の海外ネットワークを利用した異業種企業が参入して、安売り合戦に拍車がかかってしまった」といいます。

日本人の魂を表現する

し かし、墓石という商品の特性として、安く売ればよいというものでもないでしょう。岩崎会長も「今こそ墓とは何かということを問い直し、業者は物造りの原点に立ち返るべき」と警鐘を鳴らします。墓は日本人の心や魂に関わるもの。死者の魂を自然に帰し、子孫が集まって祖先や親を敬う心や、兄弟姉妹を慈しむ心を育む場所でもあります。

工場の敷地内に積まれて切削・研磨を待つ原石。原石から自社加工する業者は、札幌でも数えるほどしかない。（辻石材工業の石材加工工場）



中国・韓国など様々な国からの石材の日本国産は少なく、薄桃色の『万成』など

昔の石工や石材業者は、そうした日本人の心を理解した上で石を刻み、心のやすらぎを提供するのだという気概をもって墓石を販売してきたのですから。

そこで業界でも、まず安売りによるトラブルを未然に防ごうと、資格試験や技能試験を設けて、石材業に携わる人の質的向上に努めています。その一つは、石材施工一級技能士資格試験（厚生労働省管轄の国家資格）。石の組み方、性質など石に関する専門知識から、墓や仏像の知識を試すほか、課題に従って六時間以内



厳しかった石工の世界

開拓使が耐火性の高い石造建築を奨励したことや、近郊に軟石などの石材が豊富だったことから、札幌では明治期には多くの石造建築物が造られました。

その仕事を担ったのが本州から渡ってきた石工でしたが、徒弟制度の中での修業は特に厳しかったようです。

というのも、石造りの倉庫や郵便局などの建物を建てるので、大仕事も身につける必要があったこと、さらに石をはつる(削る)ノミなど様々な道具を自分で作ることができて一人前と言われたからです。

北海道石材工業会の岩崎会長によると、昔の石工の工資は大工の約3倍だったとか。また、製作物の出来ばえが一目瞭然なため、一週間働いた後に、石工の腕前によって建築・製作の請負賃が決められたとのこと。まさに、腕一本の実力の世界であったわけです。

断トツで多い中国からの製品輸入

●花崗岩製品(墓石・灯籠などの石刻品)の国別輸入実績上位15か国 (単位:トン・1,000円)

国名	数量	金額
中国	1,118,260	68,481,071
インド	8,844	1,134,800
イタリア	4,474	560,433
韓国	3,925	531,374
フィリピン	1,012	186,032
南アフリカ	1,429	81,402
台湾	617	61,332
スベトナム	423	52,357
マレーシア	253	48,436
タイ	198	28,994
アメリカ	189	26,228
ポルトガル	309	23,565
ブラジル	364	19,920
インドネシア	272	16,015
フランス	40	14,450
計	1,141,349	71,321,750

(2004年、「石材」05・3月号より)



また日本石材産業協会では、マークシート方式の「お墓ディレクター検定試験」を実施しています。

一方、全道三百五十社あるといわれる石材業者のうち約五十社が加盟する北海道石材工業会では、平成五年に創設された北海道石材技術学院に協力して、石工を志す若い技術者に石材業の基本を教育しています。

同学院の学院長も務める岩崎会長は、「若い人の中に、物造りに対する意識の高まりを感じる。消費者にも、良いものを求める志向が高まっていくので、それに応えることができれば」と期待をかけています。

メンテナンスでも差が

それでは私たちが墓石を購入する時、どこに注意して、どんな業者に頼めばいいのでしょうか。

「墓石は百年の買い物」といわれるように、その良しあしは五年、十年と年月が経過して差が出ると思います。野外にさらされるものなので、買い放しではなく適宜、修理する必要があります。ですから、購入時に業者がこちらの事情や予算をくみ取って

くれるかといったことはもちろん大切ですが、確実な施工と設置後のアフターメンテナンスも重要な条件となります。

墓石は花崗岩(御影石)が主流ですが、硬くて吸水率の低いものが良いとされています。施工時に日に見えない糸傷があると、寒冷地の北海道ではそこに水が入って凍結し、後の石割れの原因とも。

前述の辻社長は、「実際に業者が施工した墓石を見学するのが一番」とアドバイスしてくれました。目の幅が六センチくらいで一定に揃っているか、墓を構成する棹石、台石に色の違いや色ムラがないかなどをチェックするとよいそうです。同社のように自社工場がある会社だと、施工時のデータに基づいて、確実な修理に応じてもらえるメリットも。

安くても百万円から二百万円という買い物ですから、あくまでも慎重に、ということはいまでもありません。

あなたは「お墓ディレクター」になれるか。

04年度第2回2級検定試験問題から

日本石材産業協会が主催する「お墓ディレクター検定試験」。問題は宗教史、各宗派の特徴、墓石の建て方、位牌、家紋、仏式葬式の式次第など多岐にわたります。今年2月に行われた2級試験全100題の中から、馴染みのあるものをピックアップします。

●次のうち正しい文には○を、誤っている文には×を書きなさい。

- ① おシャカ様の誕生日は4月8日です。
- ② 命日は、亡くなった人の死亡した日にちのことをいいます。
- ③ 高野山真言宗の本山は延暦寺です。
- ④ 華やかさをきらい、奥深い山の中の永平寺でひたすら座禅修業することを決意したのが曹洞宗を開いた茶西です。
- ⑤ 日本において散付は法律で許可されています。
- ⑥ 日本列島では至るところで様々な石材が産出されていますが、現在採石されて

いる中で最も多いのは花崗岩系の石材です。

⑦ 埋葬するときには市町村長から交付される埋葬許可証を寺院もしくは霊園に提出します。

●次の各文の()に入る語を、1~4からそれぞれ選びなさい。

⑧ 中国から日本にお位牌を伝えたのは()宗で、やがて各宗派に広く採り入れられました。

- 1 浄土 2 禅
- 3 天台 4 真言

⑨ 被相続人による指定や慣習などによっ

て墳墓の承継人を決められない場合は、()がこれを定めることとなります。

- 1 警察署 2 市役所
- 3 税務署 4 家庭裁判所

⑩ ()は香川県で採掘される花崗岩系の石材です。

- 1 大島石 2 万成石
- 3 青木石 4 天山みかげ

●次の家紋の名称を、それぞれ1~4の中から選びなさい。



- 1 丸に連い鷹の羽 2 丸に木瓜
- 3 丸に蔓柏 4 丸に五三桐

(実際の問題はマークシート方式です)
(「石材」05・3月号より抜粋)

答え ①-○/②-○/③-× (後附解き) /④-× (0点) /⑤-× (消はされているのみ) /⑥-○/⑦-○/⑧ 2/⑨ 4/⑩ 3/⑪ 3/⑫ 2

来た道、行く道。

様々な先達がいるからこそ
二十一世紀があるんだよ
スローコミュニケーションを求めて。

切 味の悪くなった鋸を直すことを目立といひます。札幌の鋸目立業は、最新の職業別電話帳の機械刃物研磨業欄にわずか四軒しかありません。

小林鋸店の創業は明治三十八年（一九〇五）。新潟県出身の祖父が岩内町の金物店で修行し、蘭越町で丸山第一支店として独立開業したものです。大正に入って札幌に移り、小林清社長（六）は三代目。

数人の職人を使って、ひと月に二百枚

小林清三さん——札幌市丸山一小林鋸店

「ヤスリをかけ、あさりを出して腰を抜く」。



近く目立した時期もありましたが、今は小林さん一人で六十枚ほどに。減った原因は二にも二にも手びき鋸から

機械鋸に変わってしまったことです。とはいえ年配の大上さんの丁寧な仕事は手びき鋸から。目立なしには生まれません。

たとえば両刃鋸。目の細かいほうの横びきには百五十ほど小さな刃が並んでいます。よく見るとその一つ一つが鋭利な刃先になっていて、主に切る役目の下刃、同じく削るための上刃、おがくずを出す背の三つに研ぎ分けられています。さらに、



現在は二じんのりとした店舗で

切り出しは金づちを使います。

また、鋸の「腰を抜いてやる」のも仕事の一つ。使っているうちに熱を帯びる部分は短子が詰まってきて硬くなるのだとか。これを金づちでたたいて軟らかくしていくのです。

依頼者と話をしながら、その人の性格や仕事ぶりを考えて目立してきたものですが、最近はそのなやりとりも少なくなりました。でも「顔は忘れても目立した鋸は覚えていて二小林さん——職人仕事の究極かもしれません。」



鋸の刃の一つ一つに金づちを当ててアサリを出す

本棚への自薦、他薦をお待ちしております。



丸山一 小林鋸店
札幌市中央区南8条西7丁目 TEL511-8005
後園 札幌せんべい店本舗
札幌市東区北28条東13丁目 TEL721-6440

甘 さほんのり、さくつとやさしい歯ざわり——コーヒーや紅茶とでもおいしいせんべいを見つけました。それは

佐々木裕社長（六）の人柄そのものの味。佐々木さんは宮城県生まれ。地元

佐々木裕三さん——後園 札幌せんべい店本舗

「手焼き守って

やさしい歯触り

甘さもほんのり

んべい職人について十三年間の修行の後、結婚したばかりの奥さんと一緒に独立開業を目指して昭和四十三年三月、札幌へ。まず家を借り、自ら焼いてあちこちに卸すことから始めました。

同年六月、大通公園で開催された全国菓子博覧会に、勧める人あつて自作のせんべいを出展。出品するには屋号が必要ということで、宮城の地酒にちなんで命名したのが「我國」。「札幌せんべい」は、

鉄道弘済会「現キヨスク」に納品が決まった



ときに、我國では覚えてもらいにいと、社員の人たちのアンケートによるものです。

現在地での開店は昭和五十八年。初めて開いた店ですが、卸しを続ける間に培った評判がさらに口コミで広がって大忙し。北海道向けにチーズ、コーン、カボチャなどの素材も増やして今では十五種類。年配の女性客を中心に冠婚葬祭、贈答などにも多く使われています。



札幌の味は住宅街の隅から生まれる



味の創作も怠りなく現在は15種類に

「手焼きするのには札幌では私一人ではないでしょうか」という仕事は弟子の頑そのまま。一日に焼く数も限られるので、人も使えません。「昔は炭火でしたが、ガスは火力が一



手焼きはここだけ。型に入れてガスで焼き上げる

定するので二と二つ二つ丁寧に。機械で包装する奥さんと二人三脚です。「長男はサラリーマンで後継者はいない」そうですが、佐々木さんは二牛、修行です」と柔和な笑顔。師匠から火ばしで頭をびしゃりとやられたり、給料ももらえなかつた弟子の時代は遠い昔です。

平岸中央商店街振興組合

大規模小売店の進出などで、苦戦を強いられている商店街が多い中、地域に根ざした文化を育て、新しい街づくりに取り組んでいる商店街も。平岸天神太鼓とよさこいソーラン踊りを地域の芸能として育てている、平岸中央商店街振興組合を訪ねます。

天神太鼓と踊りで世界へ

六月の札幌は祭りの季節。上旬に開催される「よさこいソーラン祭り」は、もうすっかり市民の祭りとして定着しました。そして、この祭りの発展と共に歩み、地元チーム「平岸天神」を支えてきたのが、平岸中央商店街振興組合です。

六月の札幌は祭りの季節。上旬に開催される「よさこいソーラン祭り」は、もうすっかり市民の祭りとして定着しました。そして、この祭りの発展と共に歩み、地元チーム「平岸天神」を支えてきたのが、平岸中央商店街振興組合です。

国道（平岸街道）を走ってのよさこいソーラン祭り会場はここだけ



六月の札幌は祭りの季節。上旬に開催される「よさこいソーラン祭り」は、もうすっかり市民の祭りとして定着しました。そして、この祭りの発展と共に歩み、地元チーム「平岸天神」を支えてきたのが、平岸中央商店街振興組合です。

年後、商店街が中心となって「平岸天神太鼓創設期成会」(後に同保存会)が結成されます。「天神」の名はもちろん、平岸のシンボル「天神山」からとったもの。太鼓という郷土芸能を育てることで、先人たちの開拓精神を後世に伝えたいという思いからの結成でした。

天神太鼓が現在のようになり、よさこいソーラン踊りと合体したのは平成四年。前年に花を贈られた縁で、高知県からソーラン祭りのセントラルチームを平岸に招き、天神太鼓で歓迎したのがきっかけとなって、踊りの「平岸天神」が誕生しました。

現在、平岸天神は日本各地のみならず、遠く中国やアメリカまで遠征して踊りを披露するまでに成長しました。



社台が運営する地域交流の場「びらけし」



昭和10年建築のりんご倉庫が天神太鼓の練習道場に

本づくり

ここで調べる

札幌市交通資料館

乗り物を思い出し街角の写真に注目

二ページでも触れたように、交通機関の変遷は都市の歴史そのもの。札幌市交通資料館の電車やバスに関する様々な展示物が、人生の節目を思い出させてくれるかもしれません。

馬鉄に始まる市民の足が市営交通として発足するのは昭和二年(一九一七)のこと。以来、電車路線の延伸・廃止、地下鉄運行、そして昨年度のバス事業の民営移管と、様々な動きがありました。

資料館には一千点もの展示があります。特に市電の走行風景の写真パネル



- 所在地／札幌市南区真駒内東町二丁目、地下鉄南北線白衛隊前駅南側
- 電話／五三二一五二〇五
- 開館／五月〜九月までの土日祝日、小学校の夏休み期間中。十時〜十六時(無料)

相談室

というのも本作りの費用のうち、部数の多い少ないにかかわらず必要な組版(印字、活字入力)の費用が大きいわうエイトを占めるからです。また編集費も部数とは関係ありません。原稿を整理したり、見出しを



付けたりという作業です。他に制作費に関わってくるものといえば紙代があります。これは確かに部数が増えれば増えるものですが、少部数では全体を左右するほどでは。印刷、製本といった費用も同様です。結局、部数が少なければ一冊あたりの値段が高くなるわけです。

Q 部数減らして安く済ませたいが...

自分史を出すつもりです。あまり予算がないので部数もたくさんは作れないとは思いますが、皆さんはどのくらい作っているのでしょうか。部数が少ないほど安く済むのでしょうか。

A 組版代にウエイト、あまり下らない

そもそも販売してモトを取るとい性格のものでもありませんので、知っている人たちに読んでいただくという意味で、年賀状程度の部数が一般的です。

せいぜい200~300部といったところですが、そんなにいらぬ、ほんとに限られた人だけで十分という人もいますことでしょう。

その場合に、制作費が安くなるかということですが、それほど変わりがないのが本作りです。



何かに追い立てられるように過ぎていく毎日。いつもそこにある時計に、足を止めることを忘れていませんか。

モニュメント。

街の形成

には大きく二通りあって、一つは交通の要所に人が集まって次第に拡大発展していった街。もう一つはいわゆるニュータウン開発に属するものでしょう。千歳市郊外の泉沢向陽台の開発着工は昭和五十三年（一九七八）のこと。そこを森林原野に新しい街が出現したのです。こうした街に必要なのがモニュメント。太陽公園の日時計は第二期工事のさなかの平成二年にお目見えしました。新しい街ゆえに現代的な造形は免れませんが、時の流れを確実に刻んでいます。街の人口は一人に達して今なお分譲が進む一方で、建て替え・増改築も多く見られます。



新刊紹介

「私の人生 これからよ」

おばさん 花の女子大生になる

善大美紋



(B5#168ページ)

サブタイトルどおり、五十五歳にして早稲田大学の新入生になる筆者。「夫を北海道において東京の大学に行く妻と、それに仕送りする夫、そして喜んで応援する子供たち、やっぱり我が家は風変わりな家族なのか」と述べているように、一時は離婚寸前までいく。わが

編集室

夏になると……

夏になると札幌市中央図書館のマイクロフィルムの閲覧が込んでくる——気のせいかもしれませんが、そんな印象です。夏休みやお盆の帰省を利用してという方々でしょう。それに同窓会もあつたりして、古い新聞記事探しも。

この季節、どうしても忘れられないのは八月の終戦の日。今年も戦後六十年という節目の年でもあり、戦争体験者には特別な思いがあることでしょう。何か形にして残しておきたいという気持ちに駆られたら、迷わず今のうちにどうぞ。



闘争」が吐露されています。

一、二章は「正しいおばさん道」とは何かと、そこからみた社会批判ですが、主となっているのは現代の教育と親たちへのもの。自身が教育者だけに、時に過激に的を射ています。

また井戸端会議やヨン様などにつつまぬかす主婦族への批判もあって痛快さも十分に。前代未聞の、いや、かなり異色の書でしょう。

●自分史セミナーの「出前」します

印刷紙工では毎年、定期的に本づくり講座を開いていますが、都合で来られなかつたり、お仲間だけで話を聞きたいという人のために、本づくりセミナーの出前を行っております。三人以上のお集まりで、会場をご用意いただければ、日時を相談の上、編集者と印刷担当者がお伺いして、いろいろとアドバイスをさせていただきます。

●記念誌づくりもお手伝い

企業や団体の節目の設立周年（二十周年、三十周年……）にちなんだ記念誌づくりもお手伝いいたします。企画から承ります。

●小紙をお送りします 小紙をご希望の方には、定期的に無料でお送りしております。印刷紙工までお申し込みを。